

(課題処理)

【例題. 1】ある会社で、社員の新聞の読み方について調査したところ、次のことが分かった。これらのことから論理的に確実にいえるのはどれか。

- 社会欄を読む社員はスポーツ欄も読む。
- 文化欄を読む社員はスポーツ欄も読む。
- 政治欄を読む社員は社会欄も読む。

1. 社会欄を読む社員は、みな文化欄を読む。
2. 政治欄を読む社員は、だれも文化欄を読まない。
3. 政治欄を読む社員は、みなスポーツ欄を読む。
4. スポーツ欄を読む社員は、みな社会欄を読む。
5. スポーツ欄を読まない社員は、みな文化欄を読む。

【正答 3】

(課題処理)

【例題. 2】ある家電量販店は1階から5階まであり、フロアごとに表のとりの取扱商品の売場となっている。今般、店内の改装を行い、各売場をフロア単位で別のフロアに移動させ、全フロアの入替えを行うこととした。移動後の売場の配置について、パソコンの売場を5階とし、それ以外の商品の売場も元のフロアから3階以上離れたフロアにはしないこととすると、確実にいえるのはどれか。

フロア	取扱商品
5階	ゲーム機器
4階	テレビ
3階	パソコン
2階	携帯電話
1階	生活家電

1. ゲーム機器の売場は、3階である。
2. 生活家電の売場のすぐ上のフロアは、ゲーム機器の売場である。
3. テレビの売場は、生活家電の売場より上のフロアにある。
4. 携帯電話の売場は、1階である。
5. 生活家電の売場のすぐ下のフロアは、携帯電話の売場である。

【正答 4】

(課題処理)

【例題. 3】 一辺の長さが1の立方体を4個組み合わせて作った図 I, II, III のような立体がある。いま, 図 I, II, III の立体をそれぞれ一つずつ用いて一つの立体を作るとき, 出来上がる立体として最も妥当なのは, 次のうちではどれか。

図 I

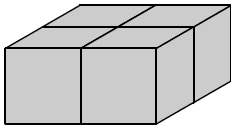


図 II

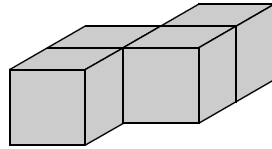
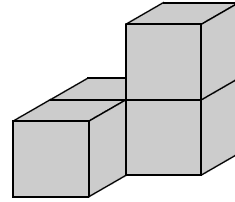
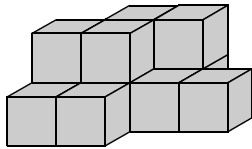


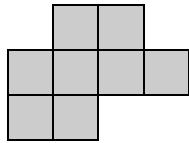
図 III



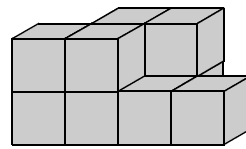
1.



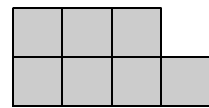
真上から見た図



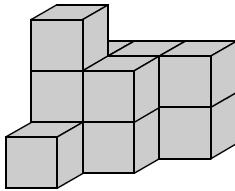
2.



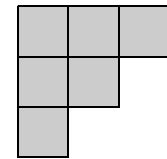
真上から見た図



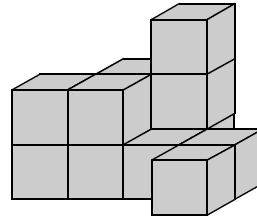
3.



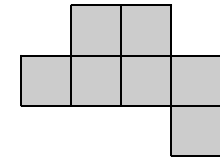
真上から見た図



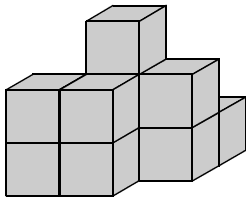
4.



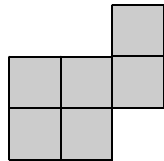
真上から見た図



5.



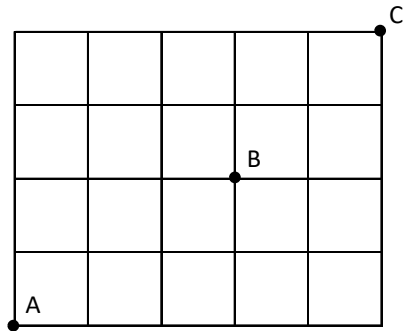
真上から見た図



【正答 3】

(数的処理)

【例題. 4】図のように道が碁盤目上になっている地区で、PはA地点にある職場を出て、B地点にある市役所に寄った後、C地点にある郵便局へ行った。このとき、最短の経路は全部で何通りあるか。

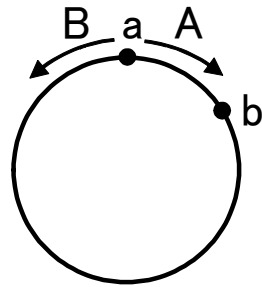


1. 60通り
2. 80通り
3. 100通り
4. 120通り
5. 140通り

【正答 1】

(数的処理)

【例題. 5】 図のような円形のコースがあり、Aはa地点から時計回りに、Bはa地点から反時計回りに、それぞれ一定の速さで歩くこととした。まずBが先に出発し、その2分後にAが出発したところ、Aが出発して1分後にb地点で、2人は初めてすれ違った。Aは30m/分の速さで歩いており、b地点ですれ違った時点でBが歩いた距離の0.2倍の距離を歩いたことが分かっているとき、次に2人がすれ違うのはb地点ですれ違ってから何分何秒後か。

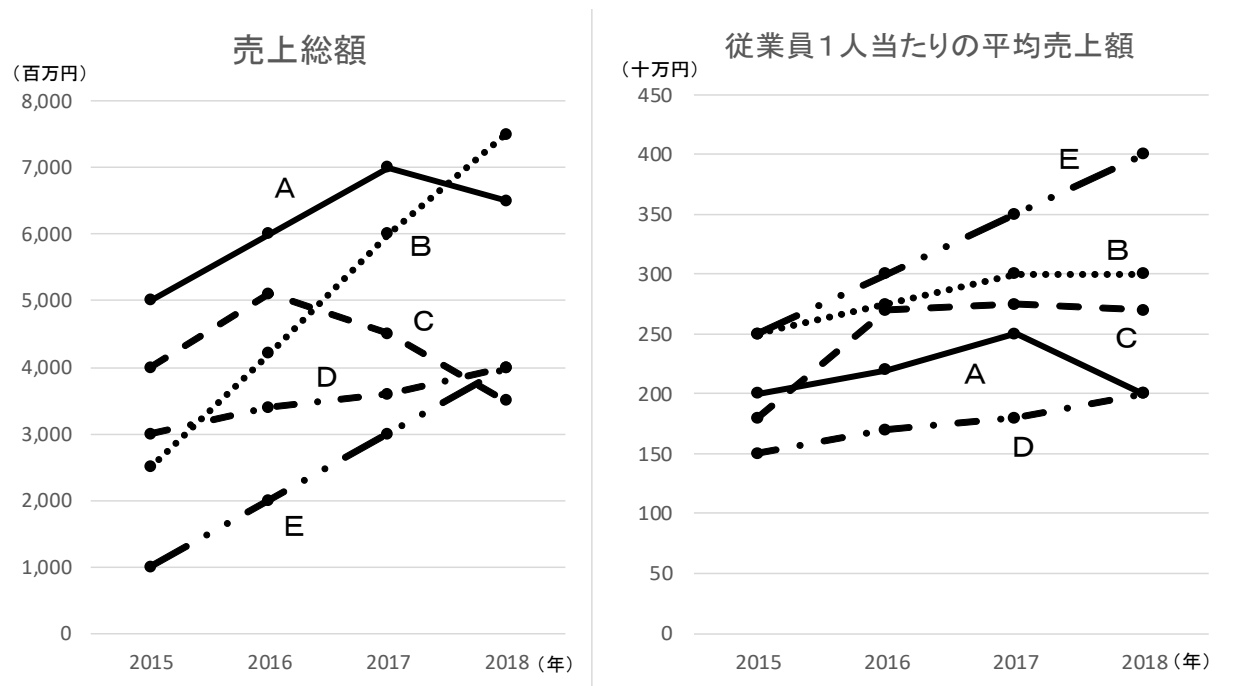


1. 2分10秒後
2. 2分15秒後
3. 2分20秒後
4. 2分25秒後
5. 2分30秒後

【正答 2】

(資料解釈)

【例題. 6】 図は、ある会社のA～Eの5営業所の2015年から2018年までにおける売上総額と従業員1人当たりの平均売上額を示したものである。これからいえることとして最も妥当なのはどれか。



1. 2017年から2018年にかけて、A営業所の従業員数は減少している。
2. 2017年から2018年にかけて、B営業所では大規模な設備投資が行われている。
3. 2015年から2018年にかけて、従業員数の増減が最小だったのはD営業所である。
4. 2015年から2018年にかけて、売上総額の増加額が最大だったのはE営業所である。
5. 2018年のE営業所の従業員数は、同年のD営業所の従業員数よりも多い。

【正答 3】

(時 事)

【例題. 7】我が国の消費及び消費者問題に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. プラスチック製品は、燃焼させると大量の温室効果ガスが発生する。そのため、これらの商品を購入する消費者には、リサイクルを促進し地球温暖化を防止する観点から、2019年に、温室効果ガスの発生量に応じた環境税を追加で支払うことが義務付けられた。
2. 食品の原産地表示は、果実や魚の刺身など加熱せずに摂食するものに限り、義務付けられている。しかし、2010年代に牛海綿状脳症(BSE)が発生したため、牛肉・牛乳を含む食品は、現在、調理品や加工品を含め、全ての原産地を表示することが特別に義務付けられている。
3. 2018年に消費者契約法が改正され、不安をあおる告知や恋愛感情等に乗じた人間関係の濫用など、社会生活上の経験不足を利用した不当な勧誘行為については、これによって結ばれた契約を取り消せるようにした。
4. 家電製品や自動車などの工業製品を購入した消費者が欠陥を見つけた場合、消費者は企業に対してその欠陥を申告するリコール制度が、2018年に発足した。リコールを受けた企業は、過失の有無を検討し、過失が認められた場合に限り、その損害賠償義務を負うこととされた。
5. インターネットショッピングでの商品の購入契約については、2019年に、クーリング・オフ制度が導入され、契約後でも3か月以内であれば、メール等で契約の撤回申請を行い、契約を解約することが可能となった。

【正答 3】

(自然科学)

【例題 8】次は酸と塩基に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

塩酸や酢酸の水溶液は、1)酸味をもつ、2)青色リトマス紙を赤色に変える、3)亜鉛や鉄などの金属と反応して **A** を発生する、といった性質を示す。塩酸や酢酸のように水溶液中で電離し、**B** を生じる物質を酸という。

また、水酸化ナトリウムや **C** の水溶液は、1)ごく薄い水溶液には苦味がある、2)赤色リトマス紙を青色に変える、3)手でさわるとぬるぬるした感じがする、という性質を示す。水酸化ナトリウムや **C** のように水溶液中で電離し、**D** を生じる物質を塩基という。

	A	B	C	D
1.	水素	H ⁺	アンモニア	OH ⁻
2.	酸素	H ⁺	ブドウ糖	OH ⁻
3.	水素	H ⁺	ブドウ糖	OH ⁻
4.	酸素	OH ⁻	アンモニア	H ⁺
5.	水素	OH ⁻	ブドウ糖	H ⁺

【正答 1】

(人文科学)

【例題 9】 20世紀に発生した戦争や紛争に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたバルカン半島でオーストリアの帝位継承者が暗殺された後、第一次世界大戦が勃発し、総力戦となった。
2. 第二次世界大戦が勃発すると、ドイツはナチ党の一党独裁体制を確立し、対外膨張を目指してイタリアに侵攻した。
3. パレスチナでは、第二次世界大戦後、ユダヤ人によるイスラエル建国に米国が反対し、第1次中東戦争が勃発したため、石油危機が起こった。
4. 米ソに分割占領されていたベトナムでは、フランスの仲裁で南北統一が実現したが、ベトナム戦争が勃発した結果、再び南北に分断された。
5. 独自の社会主義連邦国家建設を進めていたユーゴスラヴィアは、ソ連との間で武力衝突が発生した結果、解体させられ、ソ連の独立国家共同体へ再編成された。

【正答 1】

(社会科学)

【例題 10】 国際経済に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 地域的経済統合・経済協力の枠組みには、欧州連合(EU)、東南アジア諸国連合(ASEAN)、アジア太平洋経済協力(APEC)などがある。
2. 1930年代の世界恐慌期に、各国が自由貿易に走り世界貿易が混乱したことを反省し、戦後、世界貿易機関(WTO)と世界銀行(WB)を中心としたブレトンウッズ体制が整えられた。
3. 1970年代、為替レートは変動相場制からドルを基軸通貨とする固定相場制に移行したが、ニクソン米国大統領が金とドルとの交換停止を決めたことで、再び変動相場制となった。
4. 第二次世界大戦後に植民地支配から独立した国々の多くは、貧困を解消するために、第一次産業と第二次産業を織り交ぜたモノカルチャー経済と呼ばれる経済構造への転換を図った。
5. 国際収支は、経常収支と貿易収支からなり、我が国においては、デフレーションが進行した2010年代後半以降、経常収支・貿易収支ともに赤字が続いている。

【正答 1】

- * 著作権の関係により、文章理解(和文、英文)の問題については掲載しておりません。
- * 試験問題例の内容に関するご質問については、お答えしておりません。